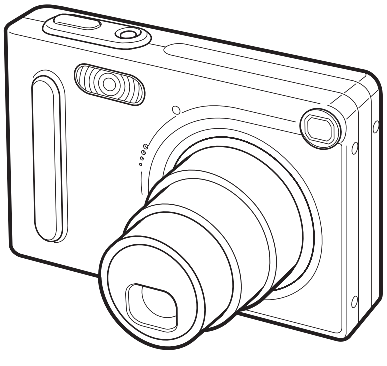
EXILIM

J Z

液晶デジタルカメラ

EX-Z3

取扱説明書
（保証書付き）



- はじめに
- 早分かりガイド
- 準備する
- 撮影する（基本編）
- 撮影する（応用編）
- 再生する
- 消去する
- ファイルの管理について
- その他の設定について
- メモリーカードを使用する
- パソコンでファイルを見る
- パソコンでファイルを活用する
- 付録

ごあいさつ

このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

K874FCM1PMJ

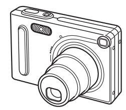
CASIO

はじめに

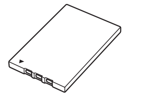
付属品の確認

箱を開けたら、まず以下の付属品が全部そろっているかどうかをご確認ください。もし、これらの付属品が全部そろっていなかった場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

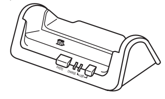
デジタルカメラ本体



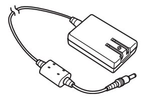
リチウムイオン充電池（NP-20）



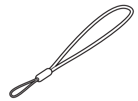
USBクレードル（CA-21A）



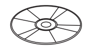
専用ACアダプター（AD-C51J）



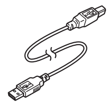
ストラップ



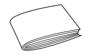
CD-ROM



USBケーブル



取扱説明書



取扱説明書（保証書付き）

目次

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 万一、Photo Loader、Photohands使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■著作権について

個人で楽しむ場合などのほかは、画像／動画フォーマットファイルを権利者に無断で複製することは著作権法や国際条約で固く禁じられています。また、これらのファイルを有償・無償に関わらず権利者に無断でネット上で記載したり、第三者に配付したりすることも著作権法や国際条約で固く禁止されています。万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

- SDロゴは登録商標です。
- Windows、Internet ExplorerおよびDirectXは米国マイクロソフト社の商標です。
- AppleおよびMacintoshは米国アップルコンピューター社の商標です。
- MultiMediaCard™は、独Infineon Technologies AG社の商標であり、MMCA(MultiMediaCard Association)にライセンスされています。
- AcrobatおよびAcrobat Readerは、Adobe Systems Incorporatedの商標です。
- USBドライバ(マスストレージ)はPhoenix Technologies社のソフトウェアを使用しています。
Compatibility Software Copyright© 1997
Phoenix Technologies Ltd. All Rights Reserved.
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
- Photo Loader、Photohandsはカシオ計算機(株)の著作物であり、上記を除き、これにかかわる著作物およびその他の権利はすべてカシオ計算機(株)に帰属します。

本機の特徴

- 有効画素数320万画素
  フォトプリンター等で綺麗に印刷できる有効画素数320万画素(CCD総画素数334万画素)の高画質CCD搭載。
- 2.0型TFTカラー液晶モニター搭載
- 12倍シームレスズーム搭載
  光学ズーム3倍／デジタルズーム4倍
- 10MBフラッシュメモリー内蔵
  メモリーカードを使用しなくても撮影ができます。
- 拡張用メモリーカードとしてSDメモリーカードとMMC(マルチメディアカード)に対応
- カメラをUSBクレードルにセットするだけで、カメラ内の充電式電池を充電することができます。
- カメラをUSBクレードルにセットするだけで、簡単にパソコンへ画像データを転送することができます。
- フォトスタンド機能搭載
  カメラをUSBクレードルに乗せたまま、撮影した画像をスライドショー表示できるので、フォトスタンドとして楽しめます。
- ベストショット機能搭載
  煩わしい設定をカメラが自動的に行うので、簡単に綺麗な写真を撮ることができます。
- 2つの記念撮影支援機能を搭載
  二人きりでも二人揃って記念撮影ができるカップリングショット機能、安心して他人に構図をまかせることができるプリショット機能があります。カップリングショット機能とプリショット機能はベストショット機能の中にあります。
- トリプルセルフタイマーモード搭載
  セルフタイマー撮影を自動的に3回くり返すモードを搭載しました。
- リアルタイムヒストグラム機能を搭載
  ヒストグラム表示を確認しながら露出の調節ができます。難しい露出条件でも、意図した露出の画像が手軽に撮影できます。
- ワールドタイム機能搭載
  簡単に現地の時間にセットできます。世界162都市(32タイムゾーン)に対応しています。
- アラーム機能搭載
  アラーム機能付きですので、目覚まし時計の代わりにもなります。また、登録した画像をアラームと同時に表示させることもできます。
- アルバム機能搭載
  撮影した画像をレイアウトしたHTMLファイルを作成し、Webブラウザで見たり、印刷することができます。また、自分のホームページ用データとしても利用することができます。

- カレンダー表示が可能
  1ヶ月分のカレンダー表示の日付上に、その日に撮影した最初の画像を表示させることができ、見たい画像を素早く探すことができます。
- 音声付きムービー撮影機能を搭載
- DCF(Design rule for Camera File system)対応
  画像データは統一規格のDCF規格に準拠しているため、同規格に準じた他の機器との互換性があります。
- DPOF(Digital Print Order Format)対応
  DPOF規格に対応しているため、同規格に準じたデジタルDPEサービスを簡単に利用することが可能です。
- PRINT Image MatchingⅡ対応
  本製品はPRINT Image MatchingⅡに対応しています。PRINT Image MatchingⅡ対応プリンタでの出力および対応ソフトウエアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。
- USB DIRECT - PRINT対応
  本製品はセイコーエプソン株式会社提唱のUSB DIRECT - PRINTに対応しています。本製品はUSB DIRECT - PRINT対応プリンタに直接接続し、デジタルカメラのモニタ上で写真選択や印刷開始を指示することができます。
- Photo Loader、Photohands付属
  好評な自動取り込み機能を備えたPhoto Loaderを付属。レタッチ機能を備えたPhotohands も付属。更に多彩に画像を活用できます。

使用上のご注意

撮影前のご注意

必ず事前にためし撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

データエラーのご注意

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。
  - カメラの動作中に電池やメモリーカードを抜いたり、USBクレードルにセットした
  - 電源を切ったときに【動作確認用ランプ】が点滅している状態で電池やメモリーカードを抜いたり、USBクレードルにセットした
  - 通信中にUSBケーブルがはずれたり、USBクレードルからカメラやACアダプターがはずれた
  - 消耗した電池を使用し続けた
  - その他の異常操作

このような場合、画面にメッセージが表示される場合があります(125ページ)。画面に対応したご処置をお願いいたします。

使用環境について

- 使用できる温度の範囲は、0℃～40℃です。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光のあたる場所、湿気やホコリの多い場所
  - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
  - 日中の車内、振動の多い場所

結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く(結露)ことがあります。結露は故障の原因になりますので、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の間を移動する前に、本機をビニール袋で密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に充分慣らしてから取り出して、電池ブタを開けたまま数時間放置してください。

レンズについて

- レンズ面は強くこすったりしないでください。レンズ面に傷が付いたり、故障の原因となります。
- レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、レンズ面には触れないでください。レンズ面の汚れは、ブロアー等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

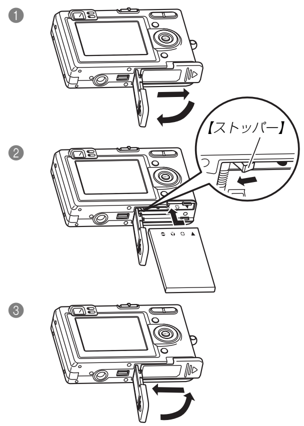
その他の注意

- 使用中、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 本機が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

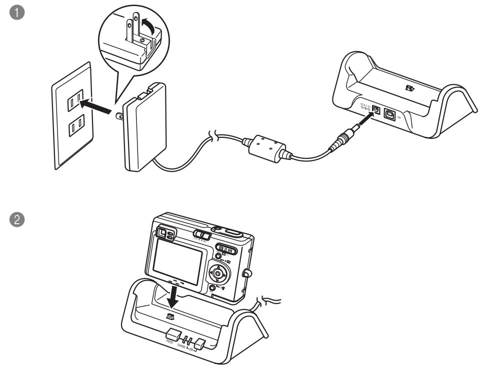
早分かりガイド

はじめに電池を充電する

1. 電池を入れます(21ページ)。

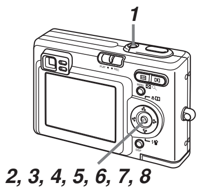


2. カメラをUSBクレードルにセットして、電池を充電します(23ページ)。
- 約2時間でフル充電されます。



画面メッセージの言語／日時を設定する

重要! • お買い上げ後、初めて撮影する前に設定してください(詳しくは31ページ参照)。



1. 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。

2. 【▲】を押して、言語(日本語)を選び、【SET】を押して言語を設定します。

3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で自宅都市のエリアを選び、【SET】を押して自宅都市のエリアを選びます。

4. 【▲】【▼】で自宅都市を選び、【SET】を押して自宅都市を設定します。
- 日本で使う場合は“Tokyo”を選んでください。

5. 【▲】【▼】でサマータイムの設定を選び、【SET】を押してサマータイムを設定します。
- 日本で使う場合は“切”を選んでください。

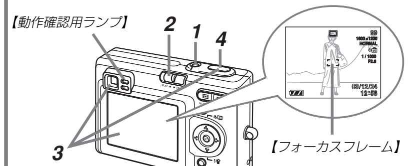
6. 【▲】【▼】で日時の表示スタイルの設定を選び、【SET】を押して表示スタイルを設定します。

7. 日付と時刻を合わせます。

8. 【SET】を押します。
- 設定を終了します。

撮影する

(詳しくは34ページ参照)



1. 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。

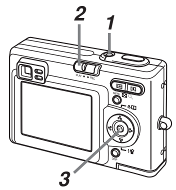
2. 【モードスイッチ】を“REC”に合わせます。

3. カメラを撮影する被写体に向け、【液晶モニター】または【ファインダー】を覗いて、【シャッター】を半押ししてピントを合わせます。
- ピントが合うと【フォーカスフレーム】が緑色になり、緑色の【動作確認用ランプ】が点灯します。

4. カメラを固定し、静かに【シャッター】を押します。

撮影したファイルを見る(再生する)

(詳しくは62ページ参照)



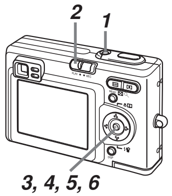
1. 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。

2. 【モードスイッチ】を“PLAY”に合わせます。

3. 【◀】【▶】を押すと、記録したファイルの戻し／送りができます。

撮影したファイルを消去する

(詳しくは72ページ参照)



1. 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。

2. 【モードスイッチ】を“PLAY”に合わせます。

3. 【▼】(⚡ 🗑)を押します。

4. 【◀】【▶】を押して、消去したいファイルを選びます。

5. 【▲】【▼】を押して、“消去”を選びます。
- 消去を中止したいときは、“キャンセル”を選んでください。

6. 【SET】を押します。
- ファイルが消去されます。

準備する

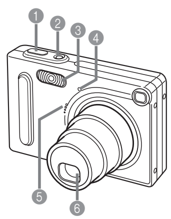
初めてご使用になる方はここからお読みになり、撮影前の準備を行ってください。

各部の名称

この取扱説明書では、本機の各部の名称を次のように【　】を使って表記します。スイッチやボタンなどの場所がわからなくなった場合は、こちらをご参照ください。

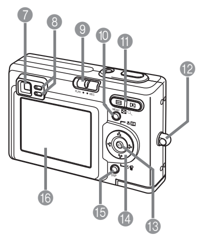
カメラ本体

■ 前面部



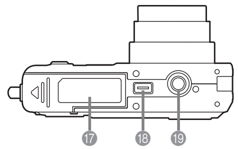
❶【シャッター】
❷【電源ボタン】
❸【フラッシュ】
❹【セルフタイマーランプ】
❺【マイク】
❻【レンズ】

■後面部

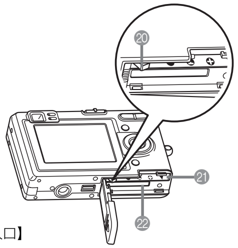


❼【ファインダー】
❽【動作確認用ランプ】
❾【モードスイッチ】
❿【MENU】
⓫【ズームボタン】
⓬【ストラップリング】
⓭【SET】
⓮【▲】【▼】【◀】【▶】
⓯【DISP】
⓰【液晶モニター】

■底面部



⑰【電池カバー】
⑱【クレードル接続端子】
⑲【三脚穴】
※ 三脚に取り付けるときに使用します。



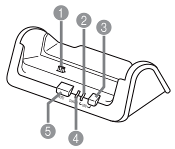
⑳【ストッパー】
㉑【電池室】
㉒【メモリーカード挿入口】

USBクレードル

カメラをUSBクレードルにセットするだけで、次のようなことができます。

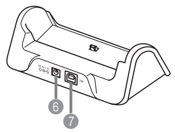
- 充電式電池を充電することができます(23ページ)。
- 撮影した画像を、パソコンに転送することができます(93ページ)。
- フォトスタンド機能を利用して、撮影した画像のスライドショーを見ることができます(71ページ)。

■前面部



❶【カメラ接続端子】
❷【USBランプ】
❸【USB】
❹【CHARGEランプ】
❺【PHOTO】

■後面部



❻【DC IN 5.3V】
(外部電源端子)
❼【USB】
(USB接続端子)

液晶モニターの表示内容

【液晶モニター】には、さまざまな情報が表示されます。

RECモード時

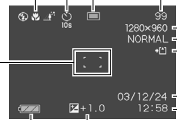
セルフタイマー
なし(1枚撮影)
(セルフタイマー10秒)
(セルフタイマー2秒)
(トリプルセルフタイマー)

撮影モード
(通常モード)
BS (ベストショットモード)
(ムービーモード)

撮影可能枚数

フォーカスモード
なし(オートフォーカス)
(マクロ)
(無限遠)
MF (マニュアルフォーカス)

画像サイズ
2048 ×1536 pixels
1600 ×1200 pixels
1280 × 960 pixels
640 × 480 pixels
ムービーモード時:秒数



画質
FINE(高精細)
NORMAL(標準)
ECONOMY(エコノミー)

フォーカスフレーム
- ピント合わせ完了時:緑色に点灯
- ピント合わせ不可時:赤色に点灯

メモリー表示
IN (内蔵メモリー使用中)
(メモリーカード使用中)

バッテリー残量表示

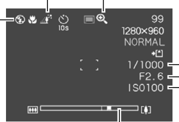
露出補正表示

日付/時刻

ホワイトバランス表示
表示なし(オート)
(太陽光)
(日陰)
(電球)
(蛍光灯)
MWB (マニュアル)

デジタルズーム表示

シャッター速度
- 絞りとシャッター速度はAE(自動露出)が適正範囲でない場合、【シャッター】を半押ししたときにオレンジ色で表示されます。



絞り値

ISO感度

フラッシュモード表示
表示なし(自動発光)
(発光禁止)
(強制発光)
(赤目軽減)
- 自動発光時にフラッシュ発光する場合は、【シャッター】を半押ししたときに が表示されます。

ズームバー
左部分が光学ズーム域
右部分がデジタルズーム域

PLAYモード時

画像サイズ
2048 ×1536 pixels
1600 ×1200 pixels
1280 × 960 pixels
640 × 480 pixels

フォルダ名/ファイル番号

プロテクト表示

ファイル形態
(静止画)
(動画)



画質
FINE(高精細)
NORMAL(標準)
ECONOMY(エコノミー)

メモリー表示
IN (内蔵メモリー使用中)
(メモリーカード使用中)

バッテリー残量表示

日付/時刻

液晶モニターの表示内容を切り替える

【DISP】を使って、【液晶モニター】に表示される内容を切り替えることができます。

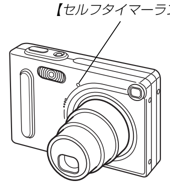
情報表示オン(18ページ) → ヒストグラム表示オン(57ページ) → 情報表示オフ → 液晶モニター※オフ → (情報表示オンに戻る)

※ 下記のモードでは【液晶モニター】はオフにはなりません。
PLAYモード、ベストショットモード、ムービーモード

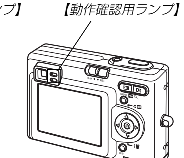
ランプについて

ランプの色や点灯、点滅によってカメラ本体やUSBクレードルの動作状況を知ることができます。詳しくは「ランプの状態と動作内容」(119ページ)をご覧ください。

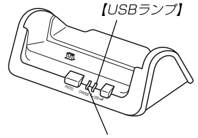
【セルフタイマーランプ】



【動作確認用ランプ】



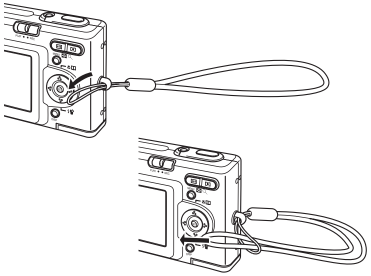
【USBランプ】



【CHARGEランプ】

ストラップの取り付けかた

ストラップは、図のように【ストラップリング】に取り付けます。



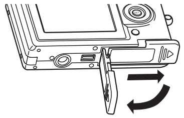
重要!
- 本機操作時は落下を防止するため、必ずストラップに指を通した状態で使用してください。
- 付属のストラップは本機専用です。他の用途に使用しないでください。
- ストラップを持って本機を振り回さないでください。

電源について

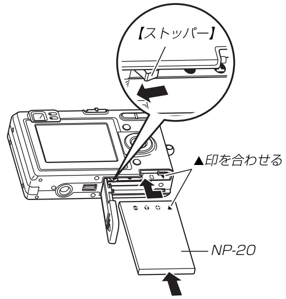
本機は専用リチウムイオン充電池(NP-20)を電源として利用します。

充電式電池を入れる

1. **本体底面の【電池カバー】を押しながら、矢印の方向にスライドさせて開きます。**

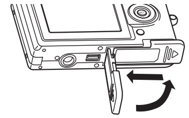


2. **図のようにカメラと電池の▲印を合わせるようにして、電池側面で【ストッパー】を矢印の方向にずらしたまま電池をセットします。**



- 電池の底の部分を押して【ストッパー】が電池にしっかりかかるのを確認してください。

3. **【電池カバー】を図のように矢印の方向に押しつけながら、スライドして閉めます。**



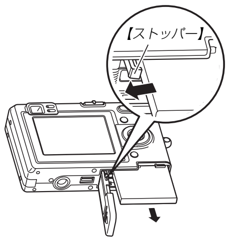
重要!
- 電池は、必ず専用リチウムイオン充電池(NP-20)をお使いください。他の電池は使用できません。

> 電池は、最初充電されておりません。「充電式電池を充電する(23ページ)」に従って充電してください。

充電式電池を取り出す

1. **【電池カバー】を開きます。**

2. **【ストッパー】を矢印の方向にずらすと、電池が少し出て来ます。**

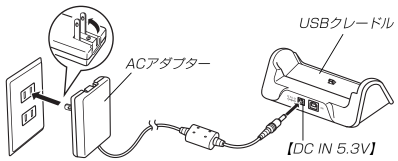


3. **出て来た電池を引き抜きます。**
- 電池を落とさないようにご注意ください。

充電式電池を充電する

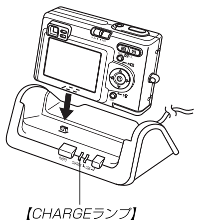
1. **USBクレードルの【DC IN 5.3V】に付属のACアダプターを接続します。**

2. **ACアダプターのプラグを起こし、家庭用コンセントに接続します。**



3. **カメラの電源を切ります。**

4. **カメラをUSBクレードルの上にセットします。**
- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
- USBクレードルの【CHARGEランプ】が赤色に点灯し、充電を開始します。充電を完了すると、【CHARGEランプ】が緑色の点灯に変わります。



5. **充電を完了したら、USBクレードルからカメラを取りはずします。**

重要!
- 約2時間*でフル充電されます。
  ※ 充電時間は、電池の容量や残量、使用環境によって変化します。
- 専用リチウムイオン充電池(NP-20)の充電は、同梱のUSBクレードル(CA-21A)、別売品のUSBクレードル(CA-21)、または別売の専用充電器(モバイルチャージャー：BC-10L)をお使いください。他の充電器では使用できません。
- ACアダプターは、必ず付属のACアダプターをお使いください。それ以外のACアダプターは使用しないでください(別売品：AD-C40／C620J／C630Jは使用できません)。
- ACアダプターは100〜240Vの電源に対応していますが、使用する国によってはプラグ形状が合わないなどの問題があるため、現地で使用可能かどうかを事前にご確認ください。
- カメラの【クレードル接続端子】は、USBクレードルの【カメラ接続端子】にしっかりと差し込んでください。
- カメラ使用直後や周辺温度が高温状態または低温状態で充電しようとすると、充電が開始されない場合があります(【CHARGEランプ】がオレンジ色に点灯します)。その場合は常温で放置してください。電池の温度が充電可能な温度になると、充電を開始します(【CHARGEランプ】が赤色点灯に変わります)。

- 充電中にエラーが起こったときは【CHARGEランプ】が赤色に点滅します。原因は、本体の不良、カメラや電池のセット(装着)不良、電池不良です。USBクレードルからカメラを取りはずし、カメラが動作するか確認してください。カメラが動作する場合は、電池を使い切ってから充電してください。
  動作しない場合は、電池のセット不良の可能性があります。電池をカメラからはずし、電池接点部が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、乾いた布で拭いてください。また、ACアダプターのコンセントやプラグがはずれかけていないか確認してください。
  上記確認の後、再度USBクレードルにカメラをセットしても同じ症状になる場合は、カシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。
- USBクレードル上では、フォトスタンド機能、充電およびUSB通信しかできません。

■電池寿命の目安

下記の電池寿命は、温度23℃で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間、または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

連続撮影枚数(撮影時間)※1	約450枚(約1時間15分)
標準撮影枚数(撮影時間)※2	約140枚(約1時間10分)
連続再生時間(静止画)※3	約2時間00分

使用電池：NP-20(定格容量：680mAh)

- 測定条件
  ※1 連続撮影
  温度(23°C)、液晶モニターオン、フラッシュ非点灯、約10秒に1枚撮影
  ※2 標準撮影
  温度(23°C)、液晶モニターオン、フラッシュ発光(2枚に1回)、30秒毎にズームのワイド端とテレ端で交互に撮影、10回撮影に1度電源を切／入操作
  ※3 連続再生
  温度(23°C)、約10秒に1枚ページ送り
- 上記数値は、新品の電池のフル充電状態での数値です。繰り返し使用すると、電池寿命は徐々に短くなります。
- フラッシュやズームなどの使用頻度や電源が入った状態の時間により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。

■電池を長持ちさせるために

フラッシュを使用しないで撮影するときは、フラッシュの発光方法を(発光禁止)に設定してご使用いただくと、電池寿命が長くなります(39ページ参照)。

■バッテリー残量表示

電池が消耗すると【液晶モニター】に表示されているバッテリー残量表示が下記表のように変化します。の状態は電池残量が少ないことを表しています。の状態では撮影できません。速やかに電池を充電し直してください。

電池残量	多 ←――→ 少
画面情報表示	→ → →

電源に関する使用上の注意

■電池使用時の注意

使用上のご注意

- この電池は、カシオデジタルカメラ専用のリチウムイオン充電池です。適応機種については、お使いのカメラの取扱説明書でご確認ください。
- 専用リチウムイオン充電池(NP-20)の充電は、同梱のUSBクレードル(CA-21A)、別売品のUSBクレードル(CA-21)、または別売の専用充電器(モバイルチャージャー:BC-10L)をお使いください。他の充電器では使用できません。
- 電池は、最初は充電されておりません。必ず最初に充電してください。
- 寒い場所では、電池の特性上、充分に充電された電池を使用しても、使用時間が短くなります。
- 充電は10℃～35℃の温度範囲で行ってください。範囲外の温度で充電すると、充電時間が長くなったり、充分な充電ができないことがあります。
- 充電直後でも電池の使用時間が大幅に短くなった場合は、電池の寿命と思われますので、新しいものをお買い求めください。

保存上のご注意

- リチウムイオン充電池は小型で高容量の電池ですが、充電された状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。
  - しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
  - 使用しないときは必ず充電池をデジタルカメラから取りはずしてください。取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、電池が消耗し、充電に時間がかかったり、こわれたりします。
  - 乾燥した涼しい場所(20 ℃以下)で保管してください。

■充電式電池の取扱について

●リサイクルのお願い

Li-ion

不要になった電池は、貴重な資源を守るため廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

<最寄りのリサイクル協力店 へ>
詳細は、社団法人　電池工業会小形二次電池再資源化推進センターのホームページをご参照ください。
- ホームページ　http://www.JBRC.com/

●使用済み充電式電池の取り扱い注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

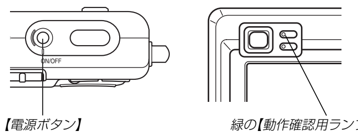
■USBクレードル／ACアダプター使用時の注意

- ●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- ●ACアダプターの電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・事故・感電の原因となります。
- ●ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- ●濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ●タコ足配線をしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- ●万一、ACアダプターの電源コードが傷んだら(芯線の露出・断線など)、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・故障・感電の原因となります。

- ACアダプターを抜き差しする際は、必ずカメラをUSBクレードルから取りはずした状態で行ってください。
- 充電中、USB通信中、フォトスタンド機能使用中、ACアダプターは若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。
- ACアダプターの上に毛布などがかぶさらないようにしてください。火災の原因となります。

電源を入れる／切る

電源の入／切は【電源ボタン】で行います。
【電源ボタン】を押すと電源が入り、緑の【動作確認用ランプ】が一時、点灯します。再度【電源ボタン】を押すと、電源が切れます。



重要!
- オートパワーオフ機能により電源が切れた場合は、【電源ボタン】を押して、再度電源を入れてください。
- 撮影モードで電源を入れると、レンズが出てきます。その際にレンズを押さえたり、ぶつけたりしないようご注意ください。

電池の消耗を抑えるための機能

電池の消耗を抑えるために、以下の2通りの設定ができます。

スリープ：RECモード時に一定時間操作をしないと、【液晶モニター】のみ消灯します。ボタン操作をすると【液晶モニター】が再度点灯します。

オートパワーオフ：一定時間操作しないと電源が切れます。

1. 電源を入れます。

2. 【MENU】を押します。

3. 【◀】【▶】で“設定”タブを選びます。

4. 【▲】【▼】で設定したい項目を選び、【▶】を押します。

スリープの設定：“スリープ”

オートパワーオフの設定：“オートパワーオフ”

- メニューのたどりかたについては30ページを参照してください。

5. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

スリープの設定内容：“30秒”“1分”“2分”“切”

オートパワーオフの設定内容：“2分”“5分”

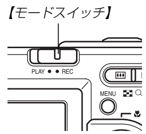
- PLAYモードではスリープは働きません。
- スリープ中にいずれかのボタンを押すと、スリープを解除してすぐに撮影できる状態になります。
- 以下の状態では、オートパワーオフ、スリープは働きません。
  - －本機のUSBクレードルを通じて本機を外部のパソコンなどと接続しているとき
  - －スライドショー中

メニュー画面の操作について

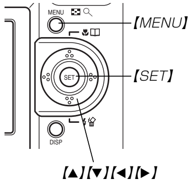
本機ではメニュー画面を使用してさまざまな操作を行います。この操作をまず覚えてください。【MENU】を押すと、メニュー画面が表示されます。メニューの内容はREC(撮影)モードとPLAY(再生)モードでは異なります。ここでは例としてRECモードでの操作を説明します。

1. 電源を入れ、【モードスイッチ】を“REC”に合わせます。

- PLAYモードにして操作を行うときは“PLAY”に合わせます。



2. 【MENU】を押します。





●メニュー画面で使うキーについて

【◀】【▶】	タブを選びます。【▶】は項目の決定にも使います。
【▲】【▼】	設定項目を選びます。
【SET】	選択した項目に決定します。
【MENU】	メニュー画面の操作を中断します。

3. 【◀】【▶】で設定したい項目のあるタブを選びます。

4. 【▲】【▼】で設定したい項目を選び、【▶】を押します。

- 【▶】を押す代わりに【SET】を押しても、次の画面に移ります。



例）設定項目“撮影モード”を選んだ場合

5. 【▲】【▼】で設定内容を選びます。

6. 選択した内容を決定します。

- 【SET】を押すと内容が決定され、メニュー画面から出ます。
- 【◀】を押すと内容が決定され、メニュー画面に戻ります。続けて他の項目を設定することができます。
- 他のタブに移りたいときは、【◀】を押して、【▲】でタブに戻り、【◀】【▶】で他のタブに移ってください。

- メニューの内容については「メニュー一覧表」(117ページ)を参照してください。

表示言語／日時を設定する

お買い上げ後初めて撮影をする前に、下記の設定を行ってください。

- 画面のメッセージの言語設定
- 自宅の都市の設定
- 表示スタイルの設定
- 日時設定(この日時は、印刷情報などに利用されます)

重要!
- 電池やUSBクレードルで電源が供給されないと、日時がリセットされてしまいます。その場合は、日時設定画面が表示されますので、再度日時を設定してください。
- 電池が消耗した状態で放置すると、約2日で日時がリセットされます。
- 日時がリセットされているときに電源を入れると、毎回、日時設定画面が表示されます。
- 日時を設定しないと、間違った時間データによって記録されてしまいますので、必ず設定してください。

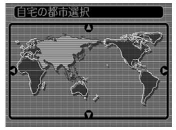
1. 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。

2. 【▲】【▼】【◀】【▶】で言語を選び、【SET】を押します。

日本語	：日本語
English	：英語
Français	：フランス語
Deutsch	：ドイツ語
Español	：スペイン語
Italiano	：イタリア語
Português	：ポルトガル語
中國語	：中国語(繁体)
中国语	：中国語(簡体)
한국어	：韓国語



3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で自分の住んでいる地域を選び、【SET】を押します。



4. 【▲】【▼】で自分の住んでいる都市を選び、【SET】を押します。

- 日本で使う場合は“Tokyo”を選んでください。



5. 【▲】【▼】でサマータイムの設定を選び、【SET】を押します。

入：サマータイムになります。

切：通常の時刻になります。

- 日本で使う場合は“切”を選んでください。

6. 【▲】【▼】で画面に表示される日付のスタイルを選び、【SET】を押します。

例）2003年10月23日

年／月／日：03/10/23

日／月／年：23/10/03

月／日／年：10/23/03



7. **日付と時刻を合わせます。**



【▲】【▼】を押す：
カーソル（選択枠）の部分の数字などを変えます。

【◀】【▶】を押す：
カーソル（選択枠）を移動します。

【DISP】：
12時間表示と24時間表示の切り替えができます。

8. **【SET】を押して、設定を終了します。**

撮影する（基本編）

ここでは最も基本的な撮影方法について説明します。

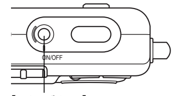
基本的な撮影のしかた

本機では被写体の明るさに応じてカメラがシャッター速度を自動的に調整します。撮影された画像は、順次内蔵フラッシュメモリーに保存されます。

- 市販のメモリーカード（SDメモリーカードまたはMMC〈マルチメディアカード〉）に保存することもできます（89ページ）。

1. **【電源ボタン】を押して、電源を入れます。**

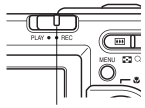
- 【液晶モニター】に画像またはメッセージが表示されます。



【電源ボタン】

2. **【モードスイッチ】を"REC"に合わせます。**

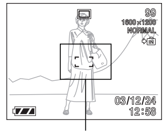
- RECモードになり、撮影できる状態になります。



【モードスイッチ】

3. **【液晶モニター】に表示されている【フォーカスフレーム】を被写体に合わせます。**

- 撮影できる範囲は、オートフォーカスモードでは約40cm〜∞です（43ページ）。

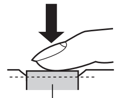


【フォーカスフレーム】

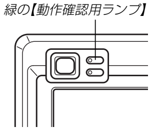
- 【ファインダー】から被写体を見て撮影することもできます（37ページ）。
- 【ファインダー】から被写体を見るときは【DISP】を押して、【液晶モニター】を消すことで、電力の消費を減らすことができます。

4. **【シャッター】を半押しし、ピントを合わせます。**

- 【シャッター】を半押しすると、オートフォーカス機能により自動的にピントが合い、シャッター速度と絞り値が表示されます。

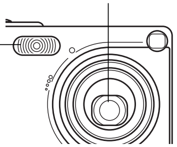

【シャッター】

- ピントは【フォーカスフレーム】や緑の【動作確認用ランプ】の点灯のしかたで知ることができます。

緑の【動作確認用ランプ】


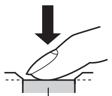
状況	動作確認用ランプ	フォーカスフレーム
ピント合わせ完了	緑点灯	緑点灯
ピント合わせ不可	緑点滅	赤点灯

- 【レンズ】や【フラッシュ】を指でふさがないでください。


【レンズ】
【フラッシュ】

5. **ピントが合っていることを確認して【シャッター】を全押しします。**

- サイズ、画質によって保存できる枚数が異なります（127ページ）。
- 手ぶれを起さないために、【シャッター】は静かに押してください。


【シャッター】

撮影時のご注意

- 【動作確認用ランプ】が緑色に点滅している間に【電池ブタ】を開けたり、カメラをUSBクレードルにセットすることは、絶対にお止めください。今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮影済みの内容が破壊されたり、カメラが正常に動作しなくなるおそれがあります。
- メモリーカードに記録中は、メモリーカードを抜かないでください。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、本機は蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、撮影するタイミングによって、微妙に撮影画像の明るさや色合いが変わる場合があります。
- ISO感度が"オート"の場合（59ページ）被写体の明るさに応じて感度が自動的に変化します。被写体が暗いと画像にノイズがのる場合があります。
- ISO感度が"オート"の場合（59ページ）被写体が暗いときは感度を上げてシャッタースピードを速くなるようにしていますが、フラッシュの発光方法（39ページ）が（発光禁止）のときには手ぶれに注意してください。
- 不要な光がレンズに当たる場合は、手で遮光してから撮影してください。

オートフォーカスのご注意

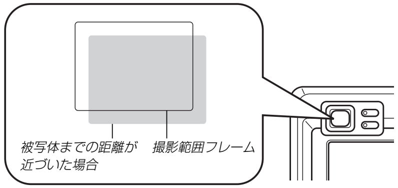
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 階調の無い壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のある金属など明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 手ぶれをしているとき
  - 動きの速い被写体
- 緑の【動作確認用ランプ】が点灯していたり、【フォーカスフレーム】が緑で表示されていてもピントが正しく合わない場合があります。
- ピントが合わない場合は、フォーカスロック（46ページ）やマニュアルフォーカス（45ページ）をご利用ください。

撮影時の画面のご注意

- 撮影時、【液晶モニター】に表示される被写体の映像は、フレーム確認のための簡易画像です。撮影した内容は、選択した画質で記録されており、出力画素数は確保されています。メモリーには精細な画像で記録されています。
- 被写体の明るさにより、撮影時の【液晶モニター】の表示速度が遅くなったり、ノイズが出る場合があります。

ファインダーを使って撮影する

電池の消耗をおさえるために【液晶モニター】をオフ（20ページ）にし、【ファインダー】を使って撮影することができます。



重要!
- 撮影範囲フレームは約1m以上離れた被写体を撮影した場合の範囲を表します。被写体の距離が近い場合、視差の関係で実際に写る範囲が異なります。
- マクロモードやマニュアルフォーカスモードにすると、自動的に【液晶モニター】がオンになりますので、【液晶モニター】をファインダーとして使用してください。【液晶モニター】は視差の問題がないため、記録される画像が正しく表示されます。

ズームを使って撮影する

本機のズームには、光学ズームとデジタルズームの2種類があります。

光学ズーム

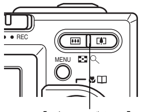
光学ズーム機能により、レンズの焦点距離を変えて撮影することができます。ズームの倍率は次の通りです。

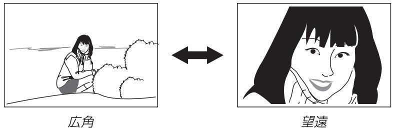
倍率：1〜3倍

1. RECモードにします。

2. 【ズームボタン】を押して、ズームの倍率を変えます。

(広角)：広角になります。
(望遠)：望遠になります。





3. 【シャッター】を押して撮影します。

参考
- 光学ズームの倍率により、レンズの絞りの値も変わります。
- 望遠で撮影するときは、手ぶれ防止のため三脚の使用をおすすめします。

デジタルズーム

デジタルズーム機能により、光学ズームが最も望遠になった（3倍）状態から、さらに画面の中央を拡大して撮影することができます。デジタルズームを使ったときのズームの倍率は次の通りです。

倍率：3〜12倍（光学ズーム併用）

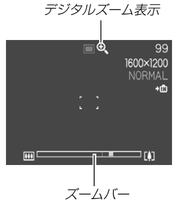
1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. 【◀】【▶】で"撮影設定"タブを選びます。

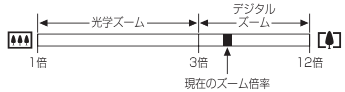
3. 【▲】【▼】で"デジタルズーム"を選び、【▶】を押します。

4. "入"を選び、【SET】を押します。
- "切"を選ぶと、デジタルズームは働きません。

5. 【ズームボタン】の(望遠)側を押して、ズームの倍率を変えます。
- 【ズームボタン】を操作して光学ズームが最も望遠になると、いったんズーム動作は停止します。その後、【ズームボタン】の(望遠)側を押すと、デジタルズームに切り替わります。



- 【液晶モニター】にズームバーが表示されます。この表示で現在のおおよその倍率が分かります。



6. 【シャッター】を押して撮影します。

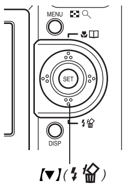
重要!
- 【液晶モニター】の表示を消している場合は、デジタルズームを使って撮影することはできません（20ページ）。
- デジタルズームを使って撮影すると画像が粗くなります。

フラッシュを使って撮影する

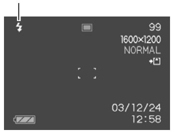
撮影条件に合わせてフラッシュの発光方法を切り替えることができます。

1. RECモードにします。

2. 【▼】(⚡)を押してフラッシュの発光方法を選びます。
- 【▼】を押すたびに【液晶モニター】に次の順でフラッシュの発光方法が表示され、切り替わります。



フラッシュモード表示



表示なし（自動発光）	：露出に合わせて自動的に発光します。
（発光禁止）	：露出に関係なく発光しません。
（強制発光）	：露出に関係なく強制的に発光します。
（赤目軽減）	：フラッシュ撮影時に人の目が赤く写ることを軽減します。露出に合わせて自動的に発光します。

3. 撮影します。

重要!
- フラッシュ撮影時、フラッシュは数回発光します。最初にプリ発光（露出情報を得るための予備発光）し、最後にメイン発光（フラッシュ撮影するための発光）することにより、最適な発光量でフラッシュ撮影が行われます。メイン発光が終わるまで、カメラは動かさないでください。
- 赤の【動作確認用ランプ】が点滅中に【シャッター】を押しても、撮影できない場合があります。

■赤目軽減機能について

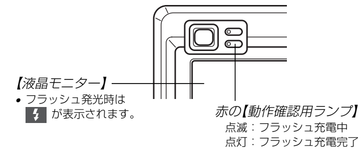
夜や暗い室内などで人物をフラッシュ撮影したとき、目が赤く写ることがあります。これは、フラッシュ光が目の網膜に反射するために起こる現象です。赤目軽減機能を使うと、フラッシュ撮影する前に赤目用プリ発光（写す人の瞳孔を小さくするためにフラッシュが発光）することにより、人の目が赤く写ることを軽減します。

※ 赤目軽減機能により撮影する場合は、下記の点に注意してください。

- 写される人が【フラッシュ】を注視していないと効果がありません。撮影する前に【フラッシュ】を見るように声をかけておいてください。
- 被写体までの距離が遠いと、効果が現れにくい場合があります。

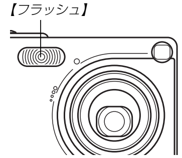
フラッシュの状態について

フラッシュの状態については【シャッター】を半押ししたときに、【液晶モニター】や赤の【動作確認用ランプ】で確認できます。



フラッシュ使用時のご注意

【フラッシュ】が指で隠れないようにしてください。隠れてしまうとフラッシュ本来の効果が得られなくなります。



- フラッシュ撮影時の被写体までの距離が、遠かったり、近かったりする場合は適切な効果が得られません。
- フラッシュの充電時間は、そのときの使用条件（電池の状態や温度等）により異なります。
  数秒〜10秒程度（フル充電の場合）
- ムービーモードの場合は、フラッシュは発光しません。このとき (発光禁止)が表示されます。
- 電池が消耗するとフラッシュの充電ができなくなることがあります。このとき (発光禁止)が点灯し、フラッシュが正常に発光せずに適正な露出が得られないことを示します。速やかに電池を充電してください。
- (赤目軽減)では露出に合わせて自動的に発光するため、明るい場所ではフラッシュは発光しません。
- フラッシュを使用した場合は、ホワイトバランスが固定されるため、外光や蛍光灯など他の光源があると色味が変わることがあります。

セルフタイマーを使って撮影する

【シャッター】を押してから約10秒または約2秒後に撮影することができます。また、3枚連続でセルフタイマー撮影する(トリプルセルフタイマー)こともできます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. 【◀】【▶】で"撮影設定"タブを選びます。

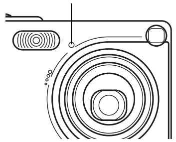
3. 【▲】【▼】で"セルフタイマー"を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】でセルフタイマーの時間を選び、【SET】を押します。

10秒：10秒後に撮影されます。
2秒：2秒後に撮影されます。
×3：10秒後に1枚、その後撮影準備完了の1秒後に1枚、さらに撮影準備完了の1秒後に1枚と、合計3枚撮影されます(トリプルセルフタイマー)。
切：セルフタイマーは使用できません。

5. 撮影します。

- 【セルフタイマーランプ】が点滅し、約10秒、または2秒後に撮影されます。
- カウントダウン中に【シャッター】を押すと、セルフタイマーを解除することができます。



参考
- シャッター速度が遅いときにセルフタイマーの2秒の設定を使用すると手ぶれ防止になります。
- トリプルセルフタイマーでは、次の撮影準備が終わると"1sec"と表示され、約1秒後に撮影されます。撮影準備完了までの時間は、画像の"サイズ"や"画質"と使用するメモリーまた、フラッシュの充電の有無によって異なります。

画像サイズと画質を変える

本機は撮影する内容に応じて、画像サイズと画質の切り替えができます。

画像サイズを変更する

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. 【◀】【▶】で"撮影設定"タブを選びます。

3. 【▲】【▼】で"サイズ"を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

2048×1536：2048×1536 pixelsで記録します。
1600×1200：1600×1200 pixelsで記録します。
1280× 960：1280× 960 pixelsで記録します。
640× 480： 640× 480 pixelsで記録します。

参考
- 大きくプリントするなど、画質を優先したい場合は"2048×1536"などのpixels数が大きな画像を選び、メールで画像データを送ったり、多くの画像を撮影するなど、容量を小さくしたい場合は"640×480"を選んでください。

画質を変更する

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. 【◀】【▶】で"撮影設定"タブを選びます。

3. 【▲】【▼】で"画質"を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

高精細：高画質で記録します。
標準：標準の画質で記録します。
エコノミー：低画質で記録します。

参考
- 画質が"高精細"→"標準"→"エコノミー"となるに従って、画像容量は小さくなります。画質を優先するときは"高精細"を、撮影枚数を優先するときは"エコノミー"を選んでください。

重要！
- 撮影した画像によってファイルサイズが異なるため、実際の撮影可能枚数と画面上の表示枚数が一致しない場合があります(18、127ページ)。

撮影する(応用編)

本機はさまざまな機能の切り替えにより、多彩な応用撮影ができます。

ピント合わせの方法を変える

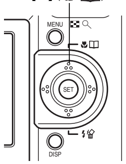
ピント合わせの方法には、オートフォーカス、マクロ、無限遠、マニュアルフォーカスの4種類があります。これらをフォーカスモードといいます。

1. RECモードにします。

2. 【▲】(🌷 📖)を押します。

- 押すごとにフォーカスモードが切り替わります。

→表示なし(オートフォーカス)
↓
🌷(マクロ)
↓
∞(無限遠)
↓
MF(マニュアルフォーカス)





自動でピントを合わせる(オートフォーカス)

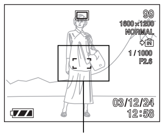
オートフォーカスでは自動的にピントを合わせることができます。シャッターを半押しすると、オートフォーカス機能が働き自動的にピント調整を始めます。ピントを合わせることができる範囲は下記の通りです。

範囲：約40cm〜∞

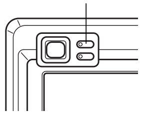
1. 【▲】(🌷 📖)を何回か押してフォーカスモード表示を消します。

2. ピントを合わせたい被写体を【フォーカスフレーム】の中にとらえて、【シャッター】を半押しします。

- 【動作確認用ランプ】と【フォーカスフレーム】の点灯のしかたによってピントの状況を知ることができます。



【フォーカスフレーム】



状況	動作確認用ランプ	フォーカスフレーム
ピント合わせ完了	緑点灯	緑点灯
ピント合わせ不可	緑点滅	赤点灯

3. 【シャッター】を全押しして撮影します。

近くを撮影する(マクロ)

マクロでは近距離で自動的にピントを合わせることができます。近くのものを撮影(接写)するときに使用します。シャッターを半押しすると、オートフォーカス機能が働き自動的にピント調整を始めます。ピントを合わせることができる範囲は下記の通りです。

約6cm〜50cm

1. 【▲】(🌷 📖)を何回か押して"🌷"を表示させます。

2. 撮影します。

- ピントの合わせかた、撮影のしかたはオートフォーカスモードと同じです。
- 【動作確認用ランプ】/【フォーカスフレーム】の点灯のしかたによってピントの状況を知ることができます。点灯のしかたはオートフォーカスモードと同じです。

重要！
- マクロでの光学ズームは1〜1.8倍の範囲で使用できます。